

キャリア支援通信

～ 架け橋 ～

第4号 中学部版

長良特別支援学校
キャリア支援部

令和3年 10月7日

早いもので前期が終了しました。中学部では、「進路のしおり」の1～4ページの当校の取組を参考に、各学級でキャリア教育を進めてきました。今回はその様子を紹介します。

☆1組☆

3年生は、総合的な学習の時間に自己理解を深める学習を行っています。その一環として、自分の長所について考えました。小学校の時に、友達に絵が上手な点を褒めてもらったことから、「絵を描くことに一生懸命取り組めること」を自分の長所と考え、掲示物にイラストを描いたり作品を応募したりして、得意なことを生かした活動を続けています。また、友達の良さを見付ける学習も行い、たくさんの長所を見つけ、作文に表現することができました。

友達の良さを実感しながら、お互いに高め合えるように学習を積み重ねていきたいと思います。

出品作品「コロナに負けるな」



☆2組☆

総合的な学習の時間に、自分の良いところや好きなこと・将来の夢や目標について考えました。教員と共に普段の生活を思い返す中で、作業がていねい、スポーツができる、集中力がある、センスがよいなどの自分の良さに気付くことができました。また英語検定やパソコン検定にチャレンジしたい、一人暮らしをしたいなどの将来の目標や夢についても考えることができました。

7月には「先輩の話を聞く会」にオンライン参加し、大切に思ったことをメモに取りながら聞くことができました。日々の積み重ねの大切さ、助けてもらうことも大切、最後は自分で決める、などの言葉が心に残ったと感想を書くことができました。

授業を通して得た気付きや学びを、これからの生活や学習に生かしていきたいと思います。



☆3組☆

ICT機器を活用して作業学習に取り組んでいます。外部スイッチを用いてタブレットやミキサー等を操作して、ものづくりや掲示物作りに取り組み、将来に向けてできることの幅を広げています。

また「ロジボ」という教材で、プログラム学習をしています。小さなロボットにプログラミングを学習させ、与えられた条件をクリアしながらステージを進んでいきます。生徒は失敗を繰り返しながら、どうすれば思いどおりの動きをするのか、何が最適なのかを論理的に考えて協力しながら取り組んでいます。



☆4組☆

病室から授業スペースに移動する際は、看護師さんに「行ってきます」の笑顔で出発します。授業＝学校とするために、教員の「行ってきます」の言葉で気持ちを切り替えられるようにしています。自分の力でできることを増やしたいという思いから、車いすの自走や靴のマジックテープを付けたり外したりすることに取り組んでいます。毎日繰り返し取り組むことで、手指や腕の使い方、動かし方が身に付くようにしています。

これらの授業の中で、できることや楽しみを増やしつつ、自分の思いを声や表情、しぐさ等で伝えていけるように学習に取り組んでいます。



☆訪問1・2組☆

「訪問教育で大切にしていること」

今回ご紹介するのは、部集会でのオンライン交流授業です。病棟での授業は、教員とのマンツーマンです。

今年度の新入生を迎える会、夏休み前後のオンライン部集会では、日々の「頑張っていること」や、「感じたことの伝え方」「これから頑張りたいこと」等、訪問生・通学生みんなで互いのことを発表し合うことができました。また、廊下に掲示している訪問生の作品を見た皆さんからの感想や学校の様子、行事については、訪問する教員が訪問生にいつも届けています。



このように、いろいろな形で交流し合うことは、将来を見据えたキャリア教育における中学部での「活動の広がり・充実」につながる大きな取組だと考えています。訪問教育では、日々の授業の中で、生徒一人一人が感じたことを自分なりに表していく力を身に付けていけるような学びと、その頑張りを教員が周りの人たちに伝えていくことを大切にしています。

